

記念講演

可能性に目覚める力を育てる

原 研哉 先生

デザイナー、株式会社日本デザインセンター代表取締役社長



© Yoshiaki Tsutsui

経歴

1958年岡山県岡山市生まれ。高校卒業まで岡山市で過ごす。デザイナー。日本デザインセンター代表取締役社長。武蔵野美術大学教授。デザインを社会に蓄えられた普遍的な知恵ととらえ、コミュニケーションを基軸とした多様なデザイン計画の立案と実践を行っている。無印良品アートディレクション、代官山蔦屋書店VI、GINZA SIX VI、展覧会「HOUSE VISION」など活動の領域は多岐。著書『デザインのデザイン』『白』『白百』『日本のデザイン』は多言語に翻訳されている。

主な仕事

- 1998年長野オリンピック開会式・閉会式プログラム。
- 2000年愛知万博公式ポスター。『RE DESIGN』展。森ビルVI計画。
- 2001年銀座松屋リニューアル計画。
- 2002年より無印良品アートディレクション。
- 2007, 2009年『SENSE WARE』展をパリ、ミラノ、東京で開催。
- 2010年より瀬戸内国際芸術祭、VI、ポスター、ナビゲーションアプリのデザインディレクションを担当。
- 2011年代官山蔦屋書店VIおよびアートディレクション。
- 2013, 2016, 2018年『HOUSE VISION』展。
- 2015-2019年3月外務省「JAPAN HOUSE」総合プロデューサー。
- 2016年『新先史時代—百の動詞』展をミラノトリエンナーレで開催。
- 2017年パリの複合音楽施設「LA SAINTE MUSICALE」VI/サイン計画。GINZA SIX VI計画。

主な受賞

毎日デザイン賞/東京ADC賞グランプリ/亀倉雄策賞/原弘賞/日本文化デザイン賞/SDA大賞/全国カレンダー展内閣総理大臣賞/講談社出版文化賞/日本広告山名賞/NY, ADC賞/世界インダストリアルデザインビエンナーレ大賞/Compassodoro Honorable Mention/著書「デザインのデザイン」でサントリー学芸賞芸術部門賞受賞

著作・作品集

『ポスターを盗んでください』(新潮社1995)/『マカロニの穴のなぞ』(朝日新聞社2001)/『デザインのデザイン』(岩波書店2003)/『白』(中央公論新社2008)/『日本のデザイン』(岩波書店2011)/『白』(中央公論新社2008)/『白百』(中央公論新社2018)他

基調講演

未来へつながる幼児教育を考える  
— 保育の質をめぐって —

汐見稔幸 先生

東京大学名誉教授



経歴

1947年大阪府生まれ。2017年度まで白梅学園大学・同短期大学学長を勤める。現在は東京大学名誉教授、日本保育学会会長、全国保育者養成協議会会長、白梅学園大学名誉学長、社会保障審議会児童部会保育専門委員会委員長、一般社団法人家族・保育デザイン研究所代表理事。専門は教育人間学、保育学、育児学。21世紀型の教育・保育を構想中。保育についての自由な経験交流と学びの場である臨床育児・保育研究会を主催。同会発行の保育者による本音の交流雑誌『エデュカール』の責任編集者もつとめ、学びあう保育の公共の場の創造に力を入れている。小西貴士氏らと21世紀型の身の丈に合った生き方を探るエコビレッジ「ぐうたら村」を建設中。

保育・幼児教育関係の最近の主な著書

- 『保育者論』2010年、改訂版2018年(ミネルヴァ書房 共編著)
- 『子どもにかかわる仕事』(岩波ジュニア新書)2011年(岩波書店 編著)
- 『よく分かる教育原理』編著2011年(ミネルヴァ書店 編著)
- 『本当は怖い小学一年生』2013年 ポプラ新書(ポプラ社)
- 『子どもを「人間としてみる」ということ：子どもとともにある保育の原点』  
2013年 佐伯胖編著(ミネルヴァ書房)
- 『保育のグランドデザインを描く：これからの保育の創造にむけて』2016年(ミネルヴァ書房)
- 『「天才」は学校では育たない』2017年 ポプラ新書(ポプラ社)
- 『さあ、子どもたちの「未来」を話ませんか：2017年告示 新指針・要領からのメッセージ』  
2017年 大枝桂子の共著(小学館)
- 『汐見稔幸 こども・保育・人間』(Gakken 保育Books)2018年 新田新一郎編 汐見著(学研)
- 『〈平成30年施行〉保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領  
解説とポイント』汐見、無藤監修2018年(ミネルヴァ書房)
- 『0・1・2歳児からのていねいな保育 全3巻』2018年(フレーベル館)他